

行政サービスは  
平等にしてほしい



私は、初当選以来いかんして一般ごみの収集回数の格差是正を訴えてきました。

今回は、大野のみなさんの署名を添えて、水上町長に提出して何としても実現をはかりたいと思っています。

まわりのみなさんにも声をかけて署名を集めてください。

町議会議員

くじ 裕子

大野のみなさんの願い実現にがんばります

# 大野地区の一般ごみ収集を週2回に！

## 大野週1回、種市週2回の差別があるのはおかしい！

町当局は議会答弁の中で、改善を実施しない理由について「住民のみなさんの要望がない」ことをあげました。

住民の代表である議員が議会で取り上げること自体「住民に要望がある」ことを示すものですが、いつたい何を根拠に「要望がない」というのでしようか？

そこで、くじ裕子町議は「要望を形にするために、「町長への要望署名」を提案することにしました。

### 住民のみなさんの要望がなんから？

合併後の最初の洋野町議選に際し、くじ裕子町議が公約の一つに「旧町村間の格差の是正」をかかげて当選を果たし、最初の議会から「一般ごみの収集格差を是正せよ」と要求し、署名を集めて町議会への請願を行いましたが、当時の議会は大野地区の議員もふくめてこの請願を不採択にしてしまいました。

これは、合併前の大野村が週1回だつたのに対し、種市町が週2回だつたというやり方を引き継いできたからです。

現在、町の一般ごみの収集は、大野地区が週1回、種市地区が週2回となっています。

くじ町議は、そうしたもとでは、行政のサービスは平等におこなわれるべきものであることは、常識です。合併協議にあたつても「サービスは高いほうに、負担は低いほうに」との精神が確認され、ときめませんでした。

本来、同一行政のもとにあつては、行政のサービスは平等におこなわれるべきものであることは、常識です。合併協議にあたつても「サービスは高いほうに、負担は低いほうに」との精神が確認され、ときめませんでした。

大野地区の一般ごみを、高いほうの週2回にするのが行政にとつては当然の措置といわなければなりません。

大野地区の一般ごみを、高いほうの週2回にするのが行政にとつては当然の措置といわなければなりません。



民報ひるの

2019年4月号外（大野版）  
発行：日本共産党洋野町委員会  
連絡先 77-2168

●日本共産党の見解をお知らせします。

# 水上町長あて要請署名にご協力を！

※記入した署名用紙は添付した封筒でくじ裕子事務所まで送ってください。切手は不要です。